



# ダイケンリビングドア

戸車、ラクラクローズ金具、鴨居レール

引戸用部品 説明書  
お客様用

ダイケンリビングドアをご愛用頂き、ありがとうございます。  
施工前には必ずこの説明書をご一読頂き、安全で確実な作業をして下さい。

- ・お届けした部品やメンテナンス用品自体の不備に関する事  
以外には当社では責任を負いかねます。取付時の怪我や物品  
の破損には充分お気を付け下さい。
- ・お客様の取付不備により製品本体に不具合が生じ、怪我や  
物品の破損につながる場合があります。当社では責任を負  
いかねますので取付には充分ご注意下さい。

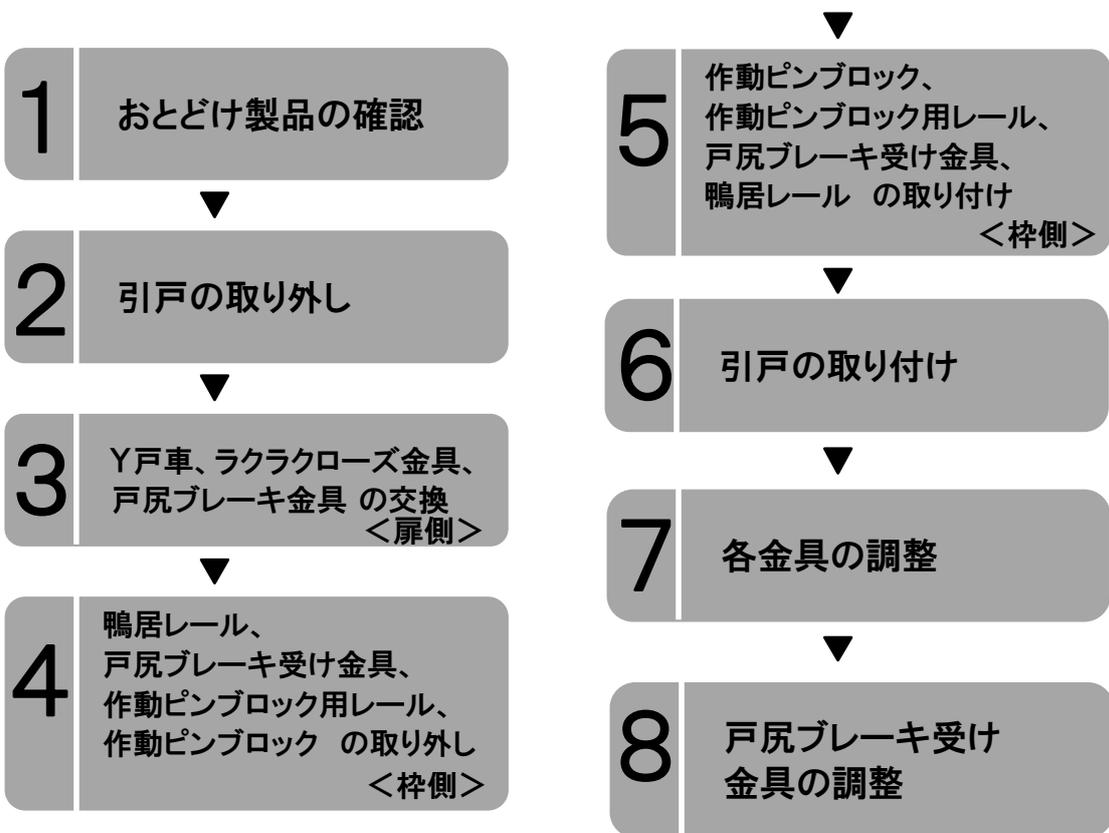
■ 内容を確認せず、また誤った工事や使い方をした時に生じる、危害や損害の程度を次の表示で説明します。

 <b>注意</b>	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または 物的損害が想定される危害・損害の程度」を表示。	<b>ご用意頂く、道具や備品</b>
	「取り扱いや施工の注意点」を表示。	・手回しドライバー ・かなづち ・カッター

## 交換施工の手順

 手順を守り、安全で確実な作業をして下さい。

- ・【Y戸車】のみの交換は  
1⇒2⇒3⇒6⇒7⇒8を参照下さい。
- ・【鴨居レール】のみの交換は  
1⇒2⇒4⇒6⇒7⇒8を参照下さい。



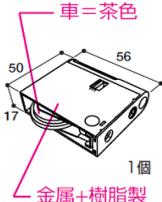
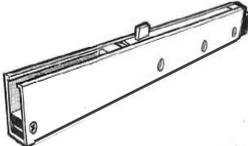
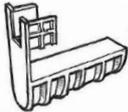
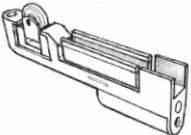
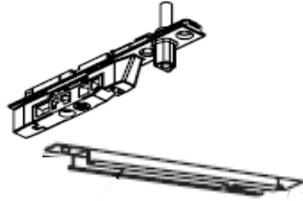
※「作動ピンブロック」と「作動ピンユニット」は同じ製品です

# 1

## おとどけ製品の確認

おとどけ製品を確認して下さい。

注) 関係する部品がすべて載っています

引戸 ご購入時期		2007年 5月 ~ 2014年 6月			
製 品	Y戸車 (下車)	ラクラクローズ 金具	ラクラクローズ キャップ	上戸車	戸尻ブレーキ 金具
本 体	 固定 ビス :1 	 固定 ビス :1 		 固定 ビス :1 	 固定 ビス :2 
付 属 品	接着剤  1本				
	埋め木  各1本			各2本	
製 品	作動ピンユニット (=作動ピンブロック) 端付用	作動ピンユニット (=作動ピンブロック) 中付用	戸尻ブレーキ 受け金具	鴨居レール	
本 体	 固定 ビス :2 	 固定 ビス :2 	 固定 ビス :2 		
付 属 品	接着剤  1本				なし
	埋め木  各2本				

# 2

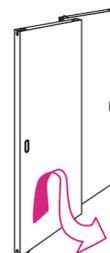
## 引戸の取り外し

### 警告

ドアを取り外す時は、指はさみに注意し、しっかり保持して下さい。また、周囲に小さい子供がいないか、良く確認して下さい。

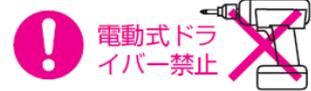
通常のフスマを取り外す様に引戸を取り外します。

1. 引戸の両端を、しっかり持ちます。
2. 上に突き上げます。
3. 下側を手前に引き、下戸車を下レールから外します。
4. 斜めになった状態で上戸車を上レールから外します。



# 3

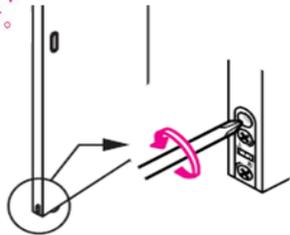
## Y戸車、ラクラクローズ金具、戸尻ブレーキ金具 の交換



**1** Y戸車 を取り付けているビスをドライバーで外し、Y戸車を取り外して下さい。

### 注意

ドアの転倒に注意して下さい。  
床にキズをつけない様にマット等を敷くなど注意が必要です。

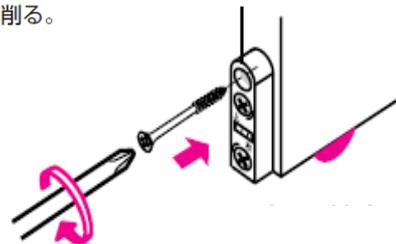
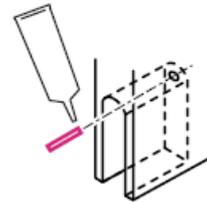


**2** ネジ穴に補修用の「埋め木」をし、ドライバーとネジでY戸車を取り付けて下さい。

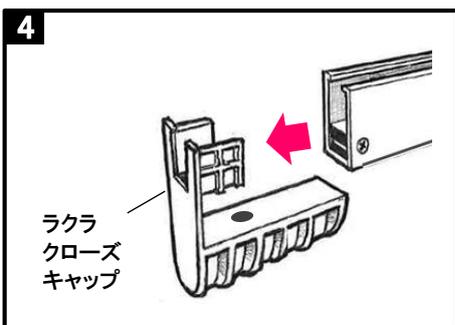
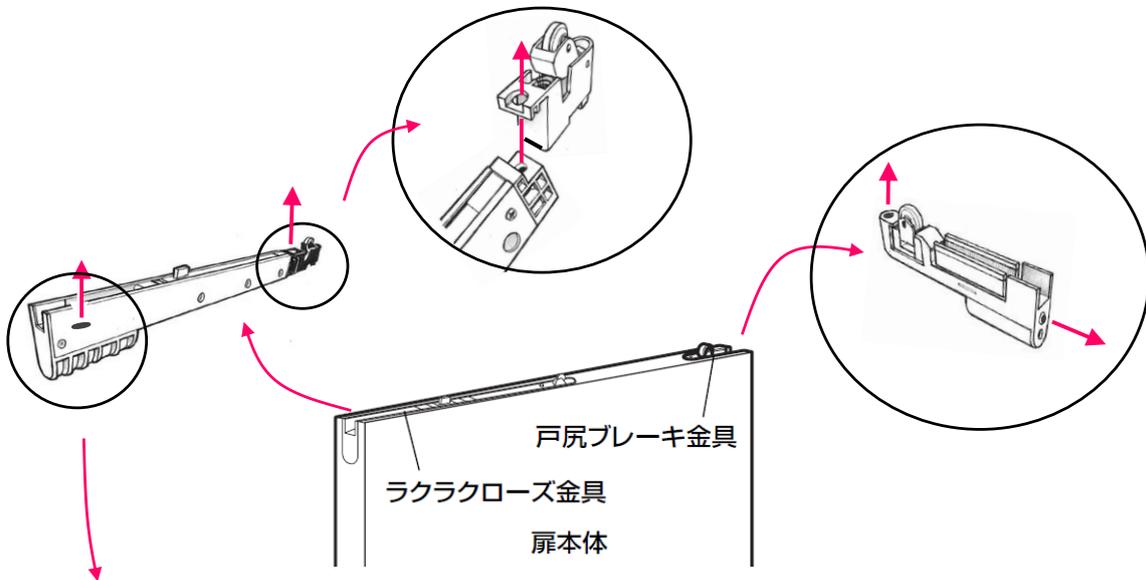
### 注意

ネジの保持力を高める為に必ず埋め木をして下さい。

1. 埋め木に接着剤を付ける。
2. ネジ穴に埋め木を入れる。
3. 埋め木の頭が飛び出したらカッターで削る。



**3** ラクラクローズ金具、戸尻ブレーキ金具 を取り付けているビスをドライバーで外し、金具を取り外して下さい。



**4** ラクラクローズ金具 に接続されている ラクラクローズキャップ は、前側から上の端を持ち、ひねって外して下さい。

※ラクラクローズ金具 のみ交換の場合は、ラクラクローズキャップ を外して交換が必要です。

**5** ネジ穴に補修用の「埋め木」をし、ドライバーとネジでラクラクローズ金具、戸尻ブレーキ金具 を引扉本体に取り付けて下さい。

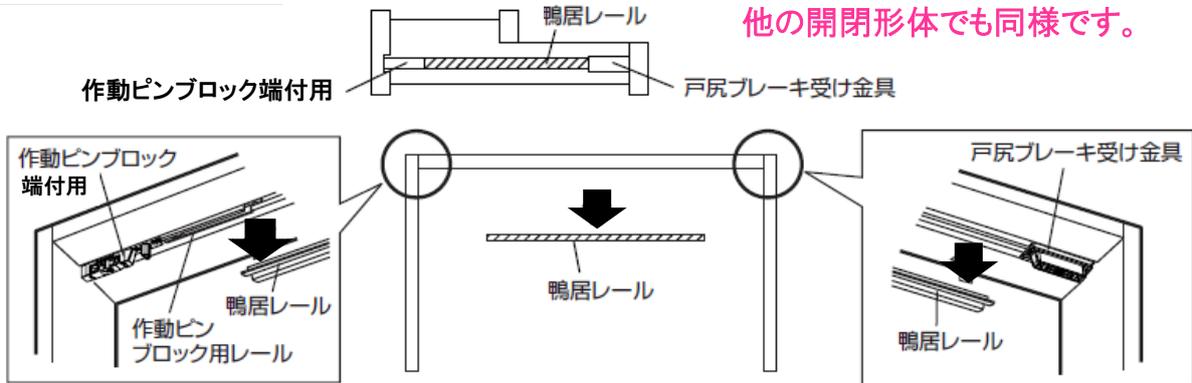
# 4

## 鴨居レール、戸尻ブレーキ受け金具、作動ピンブロック用レール、作動ピンブロック の取り外し

※ 作動ピンブロック、戸尻ブレーキ受け金具 のみの交換も可能です。  
その場合は 鴨居レール を外さず交換もできます。

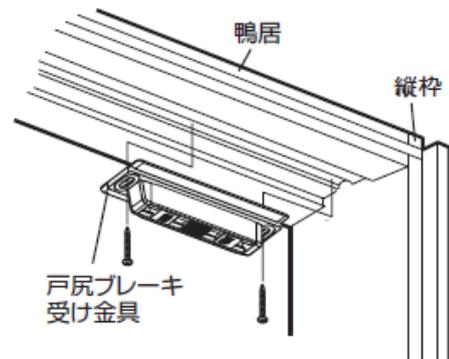
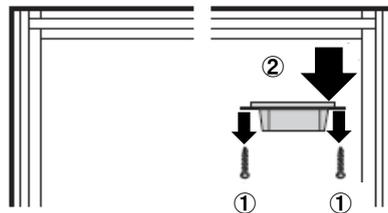
**1** 交換が必要な場合は、鴨居レール を取り外して下さい。

図は【片引】の場合です。  
他の開閉形体でも同様です。



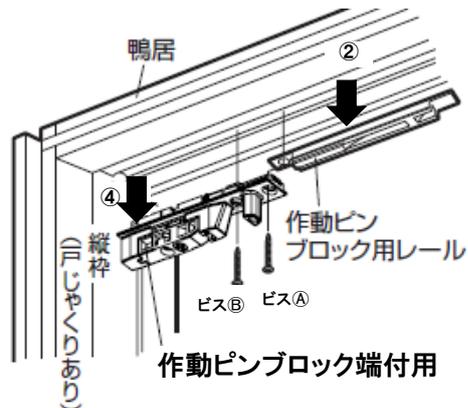
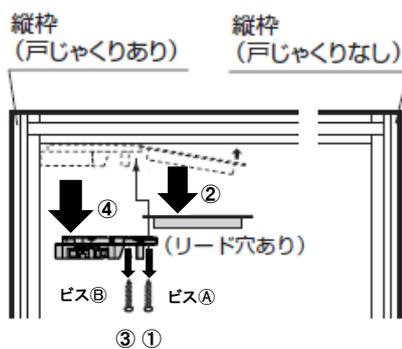
**2** 交換が必要な場合は、戸尻ブレーキ受け金具 を取り外して下さい。

- ① 戸尻ブレーキ受け金具を取り付けているビスをドライバーで外して下さい。
- ② 金具を取り外して下さい。



**3** 交換が必要な場合は、作動ピンブロック、作動ピンブロック用レール を取り外して下さい。

- ① 作動ピンブロック と 作動ピンブロック用レール を取り付けているビスAをドライバーで外して下さい。
- ② 作動ピンブロック用レール を取り外して下さい。
- ③ 作動ピンブロック を取り付けているビスBをドライバーで外して下さい。
- ④ 作動ピンブロック を取り外して下さい。



# 5

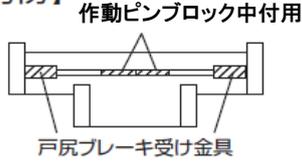
## 作動ピンブロック、作動ピンブロック用レール、戸尻ブレーキ受け金具、鴨居レールの取り付け

### 作動ピンブロック、鴨居レールの取り付け位置と方向

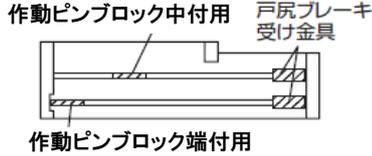
#### 【片引】



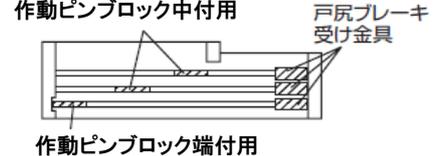
#### 【引分】



#### 【2枚片引】 ※図は右引の場合

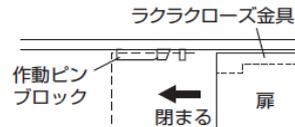


#### 【3枚片引】 ※図は右引の場合



#### ⚠ 作動ピンブロックの向きに注意

作動ピンブロックと扉が右図のような位置関係になるように作動ピンブロックを取り付けてください。  
扉を閉めた時に最初に最も細いピンが当たるようにしてください。

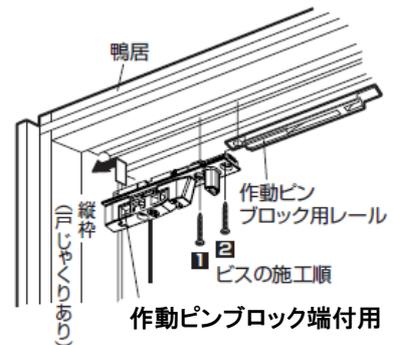
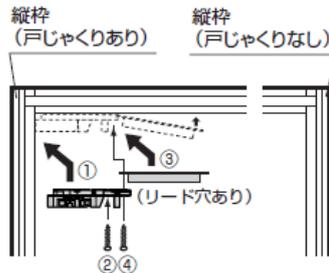


- 1 作動ピンブロック、作動ピンブロック用レールを 取り付けて下さい。  
※交換しない場合、飛ばして次に進んでください。

#### 【作動ピンブロック端付用のとき】

##### 取付け位置

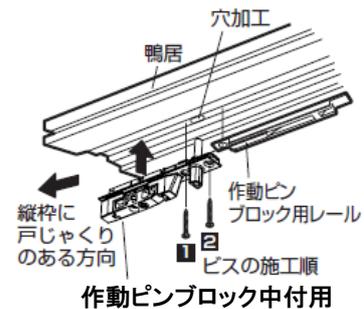
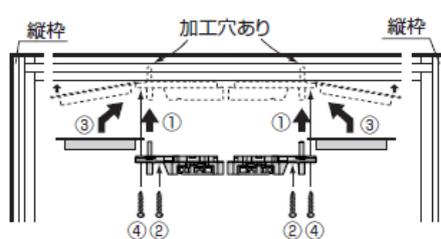
- ① 作動ピンブロックを、戸じゃくりのある縦枠側に押しあてて、鴨居の溝に差し込んでください。
- ② ビス 1 で作動ピンブロックを固定してください。
- ③ 作動ピンブロック用レールを、リード穴が重なるように差し込んでください。
- ④ ビス 2 で作動ピンブロックと、作動ピンブロック用レールを固定してください。



#### 【作動ピンブロック中付用のとき】

##### 取付け位置

- ① 作動ピンブロック中付を枠の加工穴に差し込んでください。また、引分の場合は、右図のように左右対称に差し込んでください。
- ② ビス 1 で作動ピンブロックを固定してください。
- ③ 作動ピンブロック用レールを、リード穴が重なるように差し込んでください。
- ④ ビス 2 で作動ピンブロックと、作動ピンブロック用レールを固定してください。



(続く)

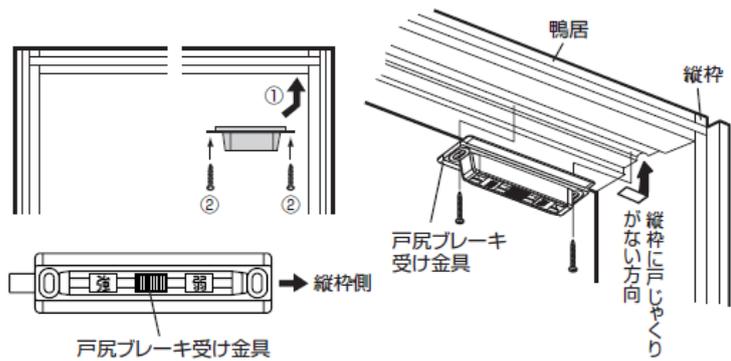
**2 戸尻ブレーキ受け金具** を取り付けて下さい。 ※交換しない場合、飛ばして次に進んでください。

**取付け位置**

- ①戸尻ブレーキ受け金具を、**弱と書かれた方を縦枠側に向け**、縦枠の戸じゃくりがない側に押しあてて、鴨居の溝に差し込んでください。
- ②ビスで戸尻ブレーキ受け金具を固定してください。

**注意**

戸尻ブレーキ受け金具の取付ける向きを間違えないように注意してください。間違えて取付けるとブレーキ機能が正常に作動しません。

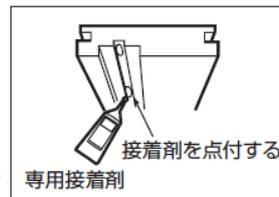


**3 鴨居レール** を取り付けて下さい。 ※交換しない場合、飛ばして次に進んでください。

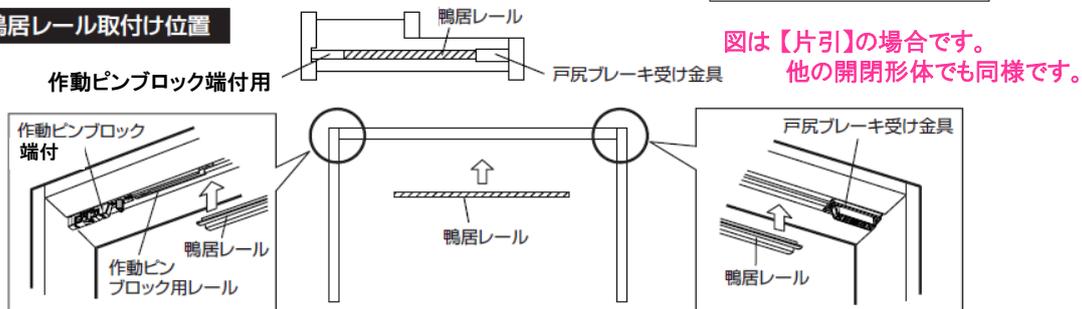
作動ピンブロック用レール、戸尻ブレーキ受け金具とひとつづきになるように鴨居レールを取付けてください。

必ず接着剤を点付けしてください。

**注意** 鴨居レールは溝の奥までしっかりと差し込んでください。



**鴨居レール取付け位置**

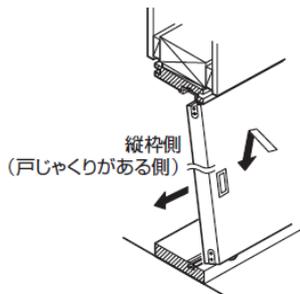


図は【片引】の場合です。他の開閉形体でも同様です。

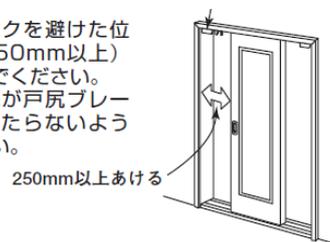
**6 引戸の取り付け**

扉をはめこんでください。

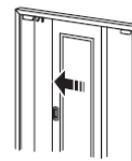
※扉の上下及び引手の向きを間違えないようにご注意ください。



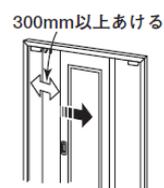
- ①作動ピンブロックを避けた位置 (縦枠から250mm以上) で扉をはめこんでください。またその際、扉が戸尻ブレーキ受け金具に当たらないようにご注意ください。



- ②扉が止まるまで、戸じゃくり側にゆっくりと動かしてください。



- ③しまりきらなかった場合、扉をゆっくりと開けてください。300mm以上開けた状態から再度扉を閉めて、ラクラクローズ機能が正常に作動することを確認してください。



**注意**

扉を梱包をはずした状態で床に直接立てないでください。部品を損傷するおそれがあります。

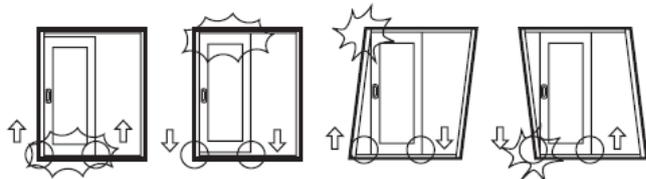
# 7

## 各金具の調整

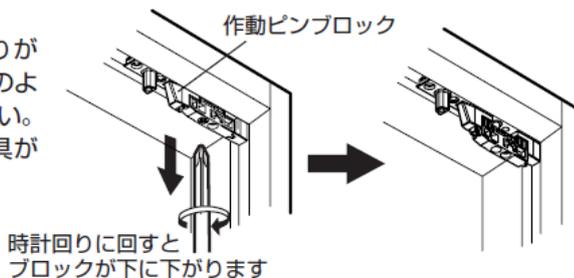
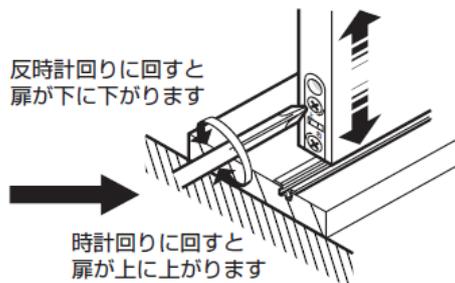
**注意** 調整には、必ず手動ドライバーをご使用ください。

### 上下調整 (調整可能範囲: 4mm)

下図のように扉と枠が当たる場合、○印のついた箇所を矢印: ⇨ の方向に調整してください。

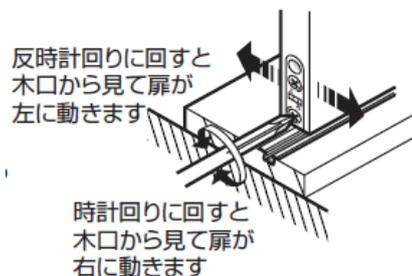


※ラクラクローズ機能付引戸で扉のはねあがりがいちじるしい場合は、作動ピンブロックを右図のように下調整して扉のはねあがりをおさえてください。その際、下げたブロックとラクラクローズ金具が開閉時に擦らないようにご注意ください。

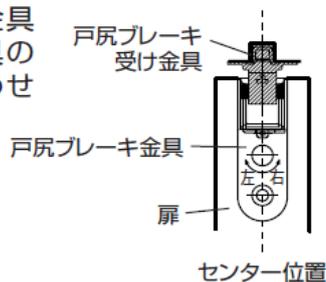


### 左右調整

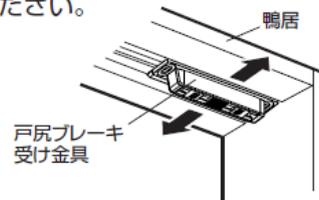
※ラクラクローズ金具には左右調整機能はありません。扉が脱輪しないよう、戸車で調整を行って下さい。



※戸尻ブレーキ受け金具と戸尻ブレーキ金具のセンター位置を合わせてください。



戸尻ブレーキ受け金具が扉のセンター位置にくるように左右調整し、ビス固定してください。

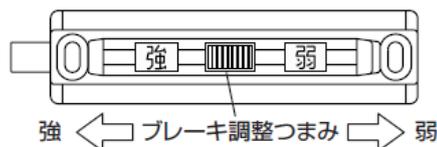


# 8

## 戸尻ブレーキ受け金具の調整

### ブレーキ調整

戸尻ブレーキ受け金具のブレーキ調整つまみを左右に動かしてブレーキ力の強弱を調整できます。



製品のお問合せ・ご相談は  
DAIKENお客様センター  
☎ 0120-787-505

お取り付けに関する御問合せは  
☎ 0120-118-633

【営業日】 平日 9:00~17:00  
【休業日】 土日祝・年末年始・お盆  
<http://www.daiken.jp/>

株式会社スマイルアップ  
【営業日】 平日 9:00~17:00  
【休業日】 土日祝・年末年始・お盆